

2018年4月、心理学部誕生！ 「社会に生きる心理学」を

発達障害がある子どもたちのサポートを実践的に研究

発達障害を持つお子さん本人を、ご家族や学校も含めて実践的にサポートするのが、私の研究の大きな柱です。発達障害のある子どもが社会的に自立できるようにするために治療と教育を行う「療育」のほか、ここ数年は神戸市、明石市などから依頼を受けて学校を訪問し、子どもたちと先生方を専門家の立場からサポートする「学校コンサルテーション」を行っています。

通常学級に所属する子どもの中の発達障害の可能性がある小・中学生が6・5%にも上り（2012年度文部科学省調査）、1クラス40人のうち2・3人という比率となっています。学習や学校生活に障害がある子どもたち一人ひとりの支援を充実させるためにも、学校の先生をサポートする学校コンサルテーションの重要性は高まっています。私の場合は、学校で子どもたちの様子を実際に見て先生方の悩みを聞き、一緒に支援や対応の仕方を考

えます。今あることを活かしてできるアクション、クラス全員の指導をしながらでも実施しやすいプランなど、状況に応じた現実的な提案をするよう心がけています。

地域の子育てを支援する「子育てサロンまなびー」

人文学部人間心理学科では、発達心理学領域の実習を兼ねて、大学キャンパス内で近隣の親子連れを対象とした「子育てサロンまなびー」を運営しています。就学前の子どもたちに遊び場を提供するとともに、学生に幼い子どもたちとの触れ合いを通して子ども達の発達を体験的に学んでもらおうという目的で開設。2014年からは神戸市指定の事業として週3日、定期的に開催しており、子育て中のお母さん方の交流、情報交換の場としても好評です。

「まなびー」では、保育士が常駐して見守りながらプレイルームを開放する通常の活動のほか、「学生とあそぼう」「アートであそぼう」「親子リトミック」「遠足」などの特別プログラムを実施しています。中でも「学生とあそぼう」は学部（発達心理学領域）3年次生のゼミ、「アートであそぼう」は大学院生（人間文化科学研究科心理学専攻）の実習と連動させ、学生自身がイベントの企画から運営まで行います。かなりの知恵と労力をかけて子どもたちが喜ぶ遊びの世界をつくり上げ、多彩なプログラムを実施するとともに、体験を学びとして蓄積する事前事後指導の時間も設けています。子どもたちや保護者と直に接することで、多くの気づきを得ることができ、学生の貴重な成長の場として、今後もさらに充実を図っていきたいと思います。



「子育てサロン まなびー」の様子

国家資格「公認心理師」に対応する心理学部が2018年に誕生

本学では、2018年4月に従来の人文学部人間心理学科を改組し、新たに心理学部として開設します。従来からの教育理念である「社会に生きる心理学」を、よりブラッシュアップした教育内容によって実現したいと考えています。

一番の目玉は、心理職初級国家資格「公認心理師」の資格取得に完全対応したカリキュラムを用意したこと。公認心理師は、医療、福祉、教育、司法、産業の5領域で活躍する心理専門職を目標としたもので、民間資格を持つ活躍してきた心理職の活躍の場がさらに広がるのが期待されています。

新学部のカリキュラムではこれまで以上に実習を重視。学内外で心理職の仕事の様子に触れながら、支援する方々の状況や課題を学びます。幅広い「現場」に関わりながら心理学の面白さを体験し、公認心理師を目標にする人も、そうでない人も、自分の可能性を広げることができるよう、心理職として社会と密接に関わってきた私自身の経験を活かしたいと思います。

人文学部

道城 裕貴
准教授



- 法学部 ■経済学部 ■経営学部
- 人文学部 ■心理学部(2018年4月開設)
- 現代社会学部
- グローバル・コミュニケーション学部
- 総合リハビリテーション学部
- 栄養学部 ■薬学部 ■大学院

●ポートアイランドキャンパス ●有瀬キャンパス



神戸学院大学
KOBEGAKUIN UNIVERSITY

神戸市中央区港島1-1-3 078-974-1551(代表)